



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第13号
2010年7月

建設常任委員会・委員長に就任しました!

【ご挨拶】

日頃からのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。
6月に開催されました第2回定例議会におきまして、建設常任委員長に就任し身の引き締まる思いです。今後は、今まで以上に精進を重ね市政発展の為、努力していく所存です。
これからも、市民皆様の御意見や御要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動して参りますので、ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

（議会報告）

深谷市議会 平成22年度 第2回定例会6月議会が終了しました。

主な議案

- ・ 深谷市長の在任の期数に関する条例（否決）
 - ・ 深谷市副市長定数条例の一部を改正する条例（可決）
 - ・ 深谷市まちづくり振興基金条例（可決）
 - ・ こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例（可決）
 - ・ 平成22年度深谷市一般会計補正予算（第1号）（可決）
- （他、市長提出議案14件、議員提出5件、）

多選自粛

深谷市長の在任の期数を制限する条例が市長から提出されましたが、賛成少数で否決されました！
この条例は、小島市長の公約で多選禁止を訴えたもので、権限が集中する長の地位に、1人の者が長期にわたり就くことにより、生ずる弊害を防止するため、市長の職にある者は、連続して3期を超えて在任することがないよう努めるものとする。というものでした。



市長も議員もそうですが、市民の皆様の審判を選挙という形で仰がなければなりません。だから在任期数を3期と決める必要はないという意見も、もっともだと思いますが、やはり権力者が長く在任すると、無投票になったりして市民の皆様にとっては良いことではないと考え賛成しました。

副市長2人制

副市長を2人にするという条例は、紛糾しましたが可決されました。（2人目の副市長は、河村賢二氏・45歳）



小島市長が就任して、当時の総合政策部長・福島氏を副市長に任命し市政運営が行なわれてきましたが、時代の変化・国や県の動向を考え、国交省から現役の行政マンを新たに副市長として迎え、この難局を乗り切るという英断だと思います。短期的には経費がかさみますが、将来の深谷市にとって必ずプラスになると信じて賛成しました。

平成22年度 深谷市一般会計補正予算(第1号)事業一覧(抜粋)

事業名	当初予算額【骨格】	補正額【肉付け】	補正後予算額	備考(補正内容等)	事業仕分け対象
議会運営事務費	9,382	20,000	29,382	議会改革に伴う議場改修(議会のインターネット中継)	
表彰・式典事業	0	3,340	3,340	市功労者表彰式の実施	●
場外舟券売場環境整備基金積立金	0	155,286	155,286	場外舟券売場環境整備協力費と利子の積み立て	
行財政改革推進事業	223	2,100	2,323	外部仕分け人による事業仕分けの実施	
まちづくり振興基金積立金	0	3,540,000	3,540,000	地域振興のための新たな基金設置	
政策課題研究事業	6,725	5,929	12,654	市の花及びキャラクターの選定 農業への企業参入基本計画策定	
こども医療費支給事業	377,082	57,600	434,682	医療費に係る一部負担金を助成 入院に係る助成対象を中3まで拡大 窓口払いの廃止	●
敬老祝金支給事業	0	33,663	33,663	77・88・99歳を対象に祝い金の支給	●
地球温暖化対策事業	599	18,000	18,599	太陽光発電システム設置費補助金	●
道の駅管理事業	23,966	2,766	26,732	利用者動向調査の実施	●
電線類地中化事業(補助分)	0	105,000	105,000	深谷駅周辺のバリアフリー化に向けた車歩道工事	
電線類地中化事業(単独分)	0	37,000	37,000	深谷駅周辺のバリアフリー化に向けた車歩道工事	
道路新設改良事業	220,185	200,000	420,185	道路改良工事等	
通学路安全対策事業	0	15,307	15,307	通学路への交通安全施設の設置	
住宅耐震化促進事業	0	10,022	10,022	耐震診断・耐震化補助金	●
北通り線整備事業	70,470	55,830	126,300	道路改良工事等	
総合公園維持管理事業	98,932	2,000	100,932	青淵公園看板設置工事	
近隣公園維持管理事業	102,838	3,000	105,838	下台池公園木道改修工事	
街区公園維持管理事業	53,427	2,400	55,827	国済寺公園外周フェンス設置工事	
防火対象物、危険物施設台帳電子化整備事業	0	49,913	49,913	県補助を活用した防火対象物、危険物施設台帳の電子化	

その他、補正額13億4千315万8千円。



今回の補正額は66億2千614万3千円で、骨格予算であった当初予算393億912万5千円と合わせて総額459億3千526万8千円となり前年比6.8%の増となりましたが、この中には「まちづくり振興基金積立金」35億4千万円や「子ども手当支給事業(国費)」27億4千618万9千円なども含まれておりますので、実際には前年比はマイナスになっていると思います。これは景気悪化に伴い、市民税と固定資産税を合わせて前年に比べ7億759万5千円も減ることが予想されているため、いたしかたないと思いますが、安定した自主財源の確保のためにも、企業誘致並びに地域産業の活性化を急ぐべきと提言いたします。

●活動報告

歴史まちづくり法と教育問題、入札システムについて視察。
京都府宇治市
(22年5月)



歴史まちづくり法について視察。
群馬県甘楽町
(22年7月)



私と交流の深い、渋澤 健氏を渋澤榮一翁生家に御案内したときのものです。健氏は榮一翁の玄孫にあたり、現在も経済界で活躍されております。昨年、花園中学の生徒に講演していただいたときのものです。



6月17日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)

「己むべからずに於いて、 己むる者は、己まざる所なし」



人間には、石にかじりついてでも、やり遂げなければならない時、すなわち正念場と言われる時があります。正念場を向かえて踏ん張れる人間と、あきらめて挫折してしまう人間、やめてはいけないうところでやめてしまう人間は、何事においても中途半端な人生になってしまうという、性善説の中から仁義による王道政治を説いた「孟子」の教えです。誰もが長い人生のうち何度かは向かえるだろう正念場ですが、その時は強い気持ちを持って乗り越えようと心に決めております。

それでは、発言通告書に基づき質問に入ります。

事業仕分け

質問 行政評価について(事業仕分けと事務事業評価について) 深谷市では平成13年度から、全ての仕事を自ら検証し次年度に繋げるため事務事業評価シートを作成し改善改革を行っておりますが、評価基準があいまいで改善プランも毎年同じことが書かれているようですが誰がチェックをして進捗管理を行なっているのか、このままでは「事業仕分け」も意味の無いものになってしまうのではないかと。

答弁 清水議員ご指摘のように、現在の事務事業評価は完全なものとは言えません。今年度から評価項目を見直し改善プランの充実をはかり進めて参ります。また、事業仕分けと連動してより良いものになるよう努力していきます。

公共事業

質問 公契約条例について
(市の発注が適正に行なわれているのか)

平成21年5月に国会で「公共サービス基本法」が制定され、異例の早さで施行されました。これを受け千葉県野田市では同じく9月に「公契約条例」を制定し、今年の2月に施行されました。これは記憶に新しい平成18年7月に起きた「ふじみ野市営プール」で発生した小学児童の死亡事故を受け、市の業務委託のあり方を国として法律に定め、地方自治体も入札のあり方や、仕事に従事する方の労働条件も含めて、見直していこうというものです。そこで質問します、深谷市の発注工事に従事する方の賃金は、県が定めている最低賃金をクリアしているのか！

また、指定管理者で従事する方や業務委託、臨時職員さんの労働条件について聞かせて下さい。

答弁 市の発注工事で落札した者と契約を結ぶ直接契約なので、そこで働いている方の賃金は把握しておりませんが、契約時に労働者が県の最低賃金を下回らないよう指導して参ります。臨時職員さんに関しては最低賃金を上回っております。

再質問 市の入札基準には最低制限価格が設けられておらず、業務委託などでは予定価格の半分以下のものあり、この場合、どう見ても最低賃金を下回っているように思えるが見解は。

再答弁 入札制度に関しては、最低制限価格の導入を含めて検討して参ります。

教育

質問 小柳新教育長の考えを聞かせて下さい。
(花園中と川本中だけが2学期制の理由)

市内29校の小中学校のうち、花園中と川本中の2校だけが2学期制となっていて、他の学校は3学期制となっています。同じ市でありながら通知表が2回しか来なかったり、子どもの立場ではテスト範囲が広がったりしているのはいかなものかと考えますが、埼玉県教育行政に多大な貢献をされ、見識も高い小柳教育長の方針を聞かせて下さい。前教育長の時も質問しましたが、その時は学校長に任せてあるという答弁でした。

答弁 子どもたちのことを一番に考え、2学期制・3学期制のメリットデメリットを検証し、新学習指導要領を踏まえて検討して参ります。

地域福祉

質問 地域ボランティアの活動について
(ふれあい・いきいきサロン)

花園地域では、「お年寄りの引きこもり・孤独化」を防ぐのに有効な「ふれあい・いきいきサロン」がボランティアの皆さんや自治会関係者、社会福祉協議会関係者の皆さんのご努力で活発に行われておりますが、市の活動支援の現状について聞かせて下さい。

答弁 ふれあい・いきいきサロンは地域福祉は基より、健康増進、病気予防にも成果を上げております。今までは社会福祉協議会から、月5千円を限度に開催補助が出されておりましたが、今年度から市がその半額を助成しております。



質問を終えて 今回は久しぶりに1番バッターという事と、地元の皆さんがたくさん傍聴に来られたということで力が入ってしまいましたが、ある程度の成果が引き出せたと思います。裏話ですが1回の質問のために用意する資料の枚数は1,000枚を超えます。それだけの準備をして臨むのですが、うまくいかない時もあるのです。(涙)

清水けんいち 議会報告会の御案内

下記の日程で、議会報告会を開催させていただきます。多くの市民の皆様、活動を報告し、開かれた政治にするため、深谷市に対する要望や御意見をいただければと思います。多くの皆様に気軽に参加していただければ幸いです。

7月25日(日) 午前10時 小前田上自治会館
7月25日(日) 午後2時 花園就業センター(ふかや商工会2F)

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ(49才)
- 家族構成 父、妻、子供3人(6人家族)犬(オス)1匹(名前ショコラ)
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。